

働くとは

—出世・やりがい・適性など—

東京都多摩市立多摩中学校3年生総合的な学習の時間講演資料



2018年3月6日(火)

11:10~12:40

開倫塾

塾長 林 明夫

Q 1 : 働くことの価値(大切さ)は何ですか。人は何のために働くのですか。仕事をするのですか。

A : (1) ①すべての仕事には、お客様がいます。仕事とは、お客様のお役に立つことだと考えます。

②同じようなお客様が社会にはたくさんいらっしゃいますので、仕事とは、社会のお役に立つことだと考えます。

③つまり、仕事とは、お客様や社会のお役に立つことと考えます。

(2) ①仕事をする事で、生活できるだけの収入を得ることだと考えます。

②生活は、一人ですることでもあれば、生活(世帯)をとともにする人たちとするともあります。

③生活(世帯)をとともにする人がいる場合には、仕事をして、合計して、生活できるだけの収入を得ることだと考えます。

(3) ①仕事を通して、よく生きることだと考えます。

②お客様や社会のお役に立つこと、生活できるだけの収入を得ることだけでも立派です。よく生きることにつながります。

③人は、仕事を通して、様々な人々に出会うことができます。様々な経験をすることができます。様々なことを学ぶことができます。「自己実現」を図ることができます。



Q 2 : 仕事をする事は、お客様や社会のお役に立つのですか。

A : はい、その通りです。

(1) すべての仕事には、お客様がいます。

(2) お客様の解決しなければならない課題を解決することが仕事です。

(3) 同じような課題を抱えている人が社会にたくさんいるのであれば、お客様の課題を解決する仕事は、社会の課題を解決する仕事といえます。



Q 3 : 仕事をする上で大切なこと、大変なことは何ですか。

A : (1) 仕事をする上で大切なことは、次の4つです。

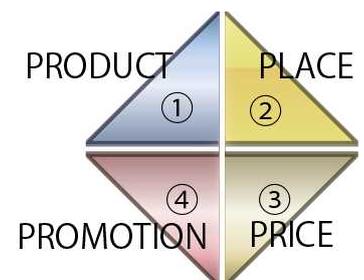
①「製品(Product)やサービス」は、お客様の課題解決になっているか。

②「場所(Place)」は、便利か。

③「価格(Price)」は、お客様が買いやすいものか。

④「販売促進(Promotion)」は、お客様や社会とのコミュニケーションとなっているか。

< Pで始まるので、「マーケティングの4P」といいます >



(2) 大変なことは、仕事には「競争相手がいること」です。

①すべての仕事には、強力な競争相手があります。今はなくても必ず現れます。競争は<マーケティングの4P>のすべてで発生します。

②競争相手は、同じ地域だけでなく、日本全国、世界各地にいます。同業他社だけでなく、異業種からの参入もどんどんあります。

③ AI(人工知能) や IoT(もののインターネット)が超スピードで進化し、今までの仕事の代わり(代替)をします。

(3) ①<マーケティングの4P>すべての分野で、競争相手も AI や IoT を使います。

② AI や IoT を用いた世界的な規模での競争がますます激しくなります。

③競争に負けない強い組織づくりと人材育成が求められます。

Q 4 : 競争相手以外に、仕事で大変なことはないのですか。

A : あります。「急激な環境変化」です。

(1) 「自然災害」

①地震、洪水、大降雪

②地球の温暖化

③

(2) 「人的災害」

①事件・事故

②

(3) ①人口減少、人手不足

②法律の改正

そこで、<急激な環境変化に耐えられる、「柔軟」で「強靱」な組織づくりと人材育成が求められます>

Q 5 : これからの社会とは、どのような社会ですか。そこで求められる能力は何だとお考えですか。

A : (1) 「知識基盤社会」

・知識、情報、技術を相互作用的に用いる能力

(2) 「グローバル社会」

・多様な集団で交流する能力

(3) 「課題山積社会」

①課題発見能力

②原因推定能力

③課題解決能力

④「高い志(こころざし)」をもち、自律的に行動する能力



Q 6 : これらの能力の前提となる能力は何ですか。

A : (1) ①「自覚をもって学ぶこと」

②自分から進んで「主体的に学ぶ力」

③「学び方を学ぶ力を身に着けていること」

(2) ①「読書による思慮深さを身に着けていること」

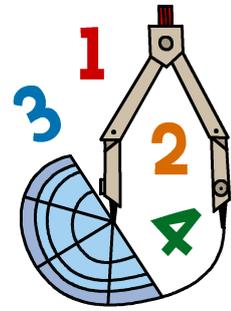
②「新聞を読んで、自分で考える力、批判的思考能力を身に着けていること」

③「辞書を活用して、語彙（ごい）力を身に着けていること」

(3) ①文章を論理的・分析的に読み解く力（読解力）

②数学・科学的思考能力

③ITと、英語によるコミュニケーション能力



Q 7 : 中学校や高校での勉強・教育活動は役に立つのですか。仕事や社会的な活動をし、よい人生を歩む上で役に立つのですか。

A : すべて役に立ちます。一生役に立ちます。

(1) ①中学校での勉強や教育活動のすべては、高校で役に立ちます。

②高校での勉強や教育活動のすべては、大学・短期大学・専門学校・専修学校・大学院で役に立ちます。

③学校での勉強や教育活動のすべては、社会で仕事や社会的な活動をし、よく生きる上で役に立ちます。すべて、一生役に立ちます。

(2) ですから、中学校や高校の教科書や教材、授業ノートは絶対に処分しないこと。一生の宝物と考えて、場所を決めて保存し、一生かけて折に触れて勉強し直すこと。

(3) 学校を卒業してから学んだことは、「学校の授業ノート」に書き加え、一生ものの「MY NOTEBOOK」を作ることをおすすめします。

Q 8 : 中学校・高校時代に身に付けておいたほうがよいことは何ですか。

A : (1)「勉強の仕方」です。

①大切なことはノートに取ること。

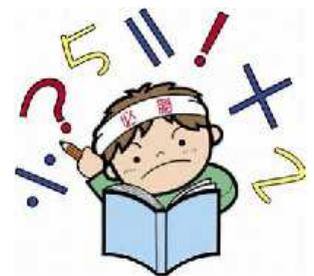
・ノートの整理、ノートの活用の方法も身に着ける。

〈仕事はメモで身に着ける〉

②予習・復習・定着の仕方

・音読練習、書き取り練習、計算・問題練習が効果的

③試験勉強の方法



(2) 「5S」です。

- ①「整理 (seiri)」 いらぬものは捨てる
- ②「清掃 (seisou)」 きれいに掃除をする
- ③「整頓 (seiton)」 ものは同じ場所に置く
- ④「清潔 (seiketsu)」 ①～③を継続する
- ⑤「躰 (shitsuke)」 自分から進んで行く



(3) 別の意味の「躰」も身に着けよう。

- ①「美しい立ち居振る舞い」
 - ②「美しいことば遣い」(敬語表現を含むことば遣い)
- ・高校生は美しく生きよう。

Q 9 : 最後に、好きなことばを紹介してください。

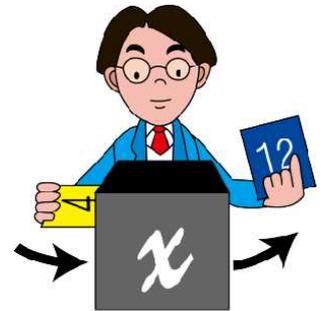
A : (1) 一生勉強、一生青春

(2) 教育ある人とは、一生勉強し続ける人

(3) 「離見の見 (りけんのけん)」 舞台上で踊っている自分を、離れた客席にいる自分が見る

(4) <自分の力で、考えて頂きたいこと>

- ①高校に行って何を学びたいのか
 - ②学校を卒業してどのように生きるのか
 - ③どのような一生を送りたいのか
 - ④自分が死んだ後、後世に何を残したいのか
- 是非お考えください。



以上

ご清聴を感謝いたします。

ご質問、ご意見、ご批判がありましたら、ご自由にご発言ください。